

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【公開番号】特開2010-227439(P2010-227439A)

【公開日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2009-80488(P2009-80488)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/472 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/18 3 7 0

A 6 1 F 13/18 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月8日 (2012.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

図 8 は、実施形態の一例を示す図 5 と同様な図である。ただし、図 8 の生理用ナプキン 2 では、第 1、第 2 ウイング部分 1 1, 1 2 が生理用ナプキン 2 の外面シート 4 4 に向かって折曲されている。その外面シート 4 4 には第 2 ウイング部分 1 2 に使用されている第 2 保護シート 3 2 が重なり、第 2 ウイング部分 1 2 には第 1 保護シート 3 1 が重なっている。第 1 ウイング部分 1 1 に対して使用されている第 1 保護シート 3 1 は、鎖線で示された部位 6 1 において第 2 保護シート 3 2 に接合している。また、図 8 の生理用ナプキン 2 は、本体部分 4 の外面シート 4 4 に粘着域が形成されていないものであるが、その外面シート 4 4 は仮想線で示された第 3 粘着域 2 3 が形成されていて、その第 3 粘着域 2 3 が仮想線で示された第 3 保護シート 3 3 によって被覆されている態様のものに代えることができる。その第 3 保護シート 3 3 は、包装シート 3 に対して剥離不能に接合されていることが好ましいものである。図 8 において、包装シート 3 は、第 1 ウイング部分 1 1 に重なるような位置にあるものであるから仮想線で示されており、リードテープ 9 は、粘着域 9 a (図 3 参照) が形成されている面とは反対側の面が示されている。図 8 においては、生理用ナプキン 2 と仮想線で示された包装シート 3 とで形成される複合体 6 0 を、第 1 仮想線 F<sub>1</sub> に沿って矢印 Q<sub>3</sub> で示す方向へ折曲し、ついで第 2 仮想線 F<sub>2</sub> に沿って矢印 Q<sub>4</sub> で示す方向へ折曲することによって、外観が図 1 と同様な包装体 1 を得ることができる。